

移住定住、U・Iターンの促進に向けた取組について

1 首都圏等での移住、U・Iターン関連イベント

(1) 実績：

ア 県主催の移住相談会、移住フェアの開催：11回

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで実施してきた対面でのイベントに替え、オンラインを中心としたイベントを実施。

	開催形式	開催日及びイベント名	参加団体等	相談者数
1	オンライン	令和2年7月18日(土) いわて暮らしセミナー①「岩手県移住コーディネートとオンラインで話そう！」	4市町 (宮古市、奥州市、葛巻町、一戸町)	7名
2	ハイブリッド (※)	令和2年8月8日(土) いわて暮らしセミナー②「イーハトー部スタートアップセミナー」		13名
3	ハイブリッド	令和2年9月11日(金) いわて暮らしセミナー③(兼県移住ツアー説明会)「岩手で暮らす・働く・生きる。STAY IWATEで見つける新しい生き方」		26名
4	オンライン	令和2年9月26日(土) もりおか暮らしセミナー「盛岡エリアくらしホンネトーク」	盛岡広域振興局主催 盛岡局管内市町村	13名
5	オンライン	令和2年11月8日(日)～14日(日) いわて移住Week (兼 岩手県U・Iターンフェア I)	全市町村、33企業 ※ふるさといわて定住財団との共催	235名
6	オンライン	令和2年11月29日(日) 北いわて暮らしセミナー	県北広域振興局主催 県北局管内市町村	7名
7	ハイブリッド	令和2年12月5日(土) いわて暮らしセミナー④「新しい仕事・働き方」		16名
8	オンライン	令和2年12月12日(土) いわて暮らしセミナー⑤「海や山や川と暮らす」	沿岸広域振興局主催 沿岸局管内市町村	13名
9	オンライン	令和3年1月23日(土) 南いわて暮らしセミナー「雪国のあったかい話をしよう」	県南広域振興局主催 県南局管内市町村	18名
10	オンライン	令和2年2月6日(土) いわて暮らしセミナー⑥「地域おこし協力隊」	3町村(矢巾町、洋野町、九戸村)	15名
11	オンライン	令和2年2月27日(土) いわて暮らしセミナー⑦「金融のプロと考える『岩手のおカネと仕事の話』」	いわぎんコンサルティング株式会社、2市(盛岡市、宮古市)	25名
合 計				388名

※ハイブリッド形式のイベントは、オンラインを中心としつつ、ふるさと回帰支援センターセミナールームにモニターを設置し、会場参加希望者に対応。

イ 首都圏を中心として開催される他団体主催移住イベントへの参加：4回

【相談者数】上段：県分、下段()：市町村分

	主催者	開催形式	イベント名	参加団体	相談者数
1	LOCONNECT (ロコネクト)	オンライン	令和2年10月4日(日) 第2回オンライン全国移住相談会	県、2町 (金ケ崎町、山田町)	2 (2)
2	ふるさと回帰支援センター	オンライン	令和2年10月10日(土) ～11日(日) 第16回ふるさと回帰フェア2020	県、5市町 (盛岡市、八幡平市、遠野市、滝沢市、葛巻町)	6 (6)
3	岩手わかすフェス実行委員会	オンライン	令和3年2月20日(土) ～21日(日) 岩手わかすフェス	県、4市町 (盛岡市、八幡平市、葛巻町、岩泉町)	(※) 延べ 966人
4	移住・交流推進機構	オンライン	令和3年3月13日(土) ～14日(日) JOIN移住・交流&地域おこしフェア	県、5市村 (盛岡市、八幡平市、奥州市、二戸市、野田村)	1 (4)
中止	ふるさと回帰支援センター	第4回東北U・Iターン大相談会		—	—
	日本創生のための将来世代応援知事同盟	第6回いいね！地方の暮らしフェア		—	—
	ふるさといわて定住財団	岩手県U・IターンフェアⅡ		—	—
合 計					8 (8)

※岩手わかすフェスの参加者数は参考値であること。

2 岩手U・Iターンクラブ

(1) 岩手U・Iターンクラブ加盟大学 59大学(令和3年3月31日現在)

(2) いわて就職情報交換会の開催

概 要：U・Iターンクラブ等に加盟する大学の就職支援担当職員と県内企業の情報交換会を実施

開 催 日：10月27日(火)～30日(金) ※オンライン開催

※55大学64名、県内企業54社62名が参加

3 地方創生移住支援事業(移住支援金等)

(1) 移住支援事業

概 要：東京圏から移住して就業又は起業しようとする者が転居・就業又は起業・定着に至った場合に、県と居住地の市町村が協働して移住支援金を給付

支 給 額：2人以上の世帯の場合にあっては100万円、単身の場合にあっては60万円の移住支援金を支給

移住支援金対象法人：233社(令和3年3月31日現在)

移住支援金支給実績：13件

(2) 起業支援事業（地域課題解決型起業支援金）

概要：地域が抱える課題に対し、「社会性」「事業性」「必要性」の観点を持って取り組む社会的起業に対し、起業に必要な経費の一部として支援金を支給するとともに、事業の立ち上げに関する伴走支援等を実施

実施団体：岩手県中小企業団体中央会

補助額：対象経費の最大2分の1（最大200万円）

採択実績：5件

(3) マッチング支援事業（シゴトバクラシバいわて）

概要：U・Iターン求職者向けマッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」において、魅力ある企業等の情報や求人情報を県内外に発信するとともに、求職者と人材を募集する企業とのマッチングを支援。

マッチング支援機能

- ・求職者が登録した資格や経験をもとに求人企業からアプローチする「リクエスト機能」により、サイト上でのマッチングが可能。
- ・いわて暮らしサポートセンター、岩手県U・Iターンセンター及びいわてU・Iターンサポートデスクにおいて、本サイトを介した登録求職者へのサポート情報の共有が可能。
- ・求人企業から同意があった求人情報については、民間求人検索サイト（Yahoo!しごと検索等）においても提供でき、県外在住の求職者に、広く県内企業の求人情報を提供することが可能。

登録実績等（令和3年3月31日現在）

登録企業数	778社
求職登録者数	1,732名
求人情報	7,236件 ※岩手県独自求人：635件、ハローワーク掲載求人：6,601件

4 岩手版ワーキングホリデー

概要：県外の若者等が県内の事業所で就業体験をしながら、地域のイベントや行事に参加し、岩手で仕事と暮らしの魅力を体験する「いわてふるさとワーキングホリデー」を、令和元年度から継続して実施。

実績：

- ・受入企業数 7社
- ・参加者数 20名

※1 上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により、受入決定に至らなかった企業が4社あった。

※2 なお、令和元年度は延べ18事業所で受入を行い、36名が参加。うち3名が本県への就職に繋がっている。

5 首都圏発ツアー「おかえりいわてツアー」

概要：県内で開催される県内企業との交流会やインターンシップ等に参加することを条件として、東京駅、大宮駅、仙台駅のいずれかから盛岡

駅までの新幹線の片道分の料金を支援。令和2年度は「岩手版ワーキングホリデー」に参加した15名が活用した。

実績：15名

6 ふるさと若者ミーティング

概要：県外の岩手県出身学生を対象に、県内企業や就職環境を理解し、インターンシップや就職を促す交流会を実施した。

実施回数：5回

実績：計67名

月日	内容	会場等	参加者数
5月29日	緊急企画！就活情報交換会	オンライン	9名
6月17日	いわてむすび (岩手の企業で活躍する先輩と、県外に在学している学生のWeb座談会)	オンライン	12名
11月25日	いわての就活スタートアップセミナー	オンライン	14名
12月18日	いわてのインターンシップ&企業研究プログラム説明会	オンライン	18名
2月25日	就活直前！座談会	オンライン	14名

7 「岩手県出身県外大学生応援事業」の実施

概要：新型コロナウイルス感染症により生活に影響を受けている本県出身大学生等が岩手県内インターンシップや就職活動等を行う際に要する交通費・宿泊費等を助成（上限：1人・1回20,000円。4回まで）

支給実績：707件

8 「いわてテレワーク推進モデル事業」の実施

概要：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社員へのテレワークを推進する企業が増加していることを踏まえ、将来的な本県でのテレワークによる移住・定住に繋げることを目的としたモデル事業として、県外の企業を対象に、社員に1か月程度滞在いただく「お試しテレワーク」と、県内のテレワーク環境等をPRする「県内テレワーク施設等の視察ツアー」を実施した。

実績：

- ・お試しテレワーク 2社2名
- ・県内テレワーク施設等ツアー 20社25名

※ お試しテレワークについては、上記のほか2社9名の受入を調整していたが、緊急事態宣言により、実施を見送った。